

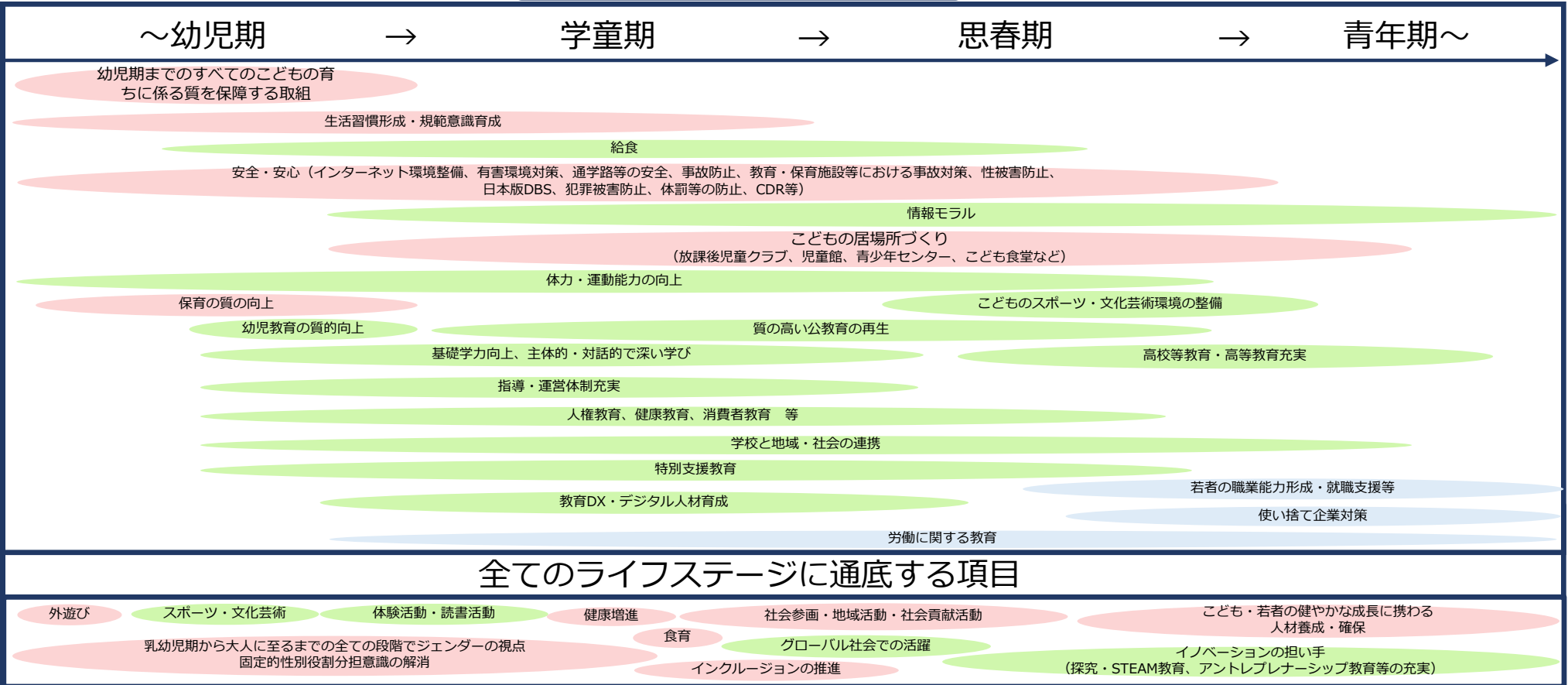
- こども施策の基本的な方向性とその下で進める具体的施策を提示。
 - ・これまでの既存3大綱や有識者会議第1次報告書を継承。
 - ・関連する政府方針（こども未来戦略方針、教育振興基本計画等）と整合性のとれたものとする。
 - ※ 「幼児期までのこどもの育ちに係る基本的な指針（仮称）」や「こどもの居場所づくりに関する指針（仮称）」の策定に向けた検討とも連携。
- 柱建てとしては、有識者会議第1次報告書の3つの柱を踏まえ、検討。
 - ・全てのこども・若者に、健やかで安全・安心に成長できる環境を提供する
 - ・成育環境にかかわらず、誰一人取り残すことなく健やかな成長を保障する
 - ・結婚・妊娠・出産・子育てに夢や希望を感じられる社会

こども・若者の意見反映 EBPMの推進

こども・若い世代、結婚・子育て当事者の意見の政策への反映

こども・若い世代、結婚・子育て当事者の目線に立った情報発信

全てのこども・若者の健やかな成長

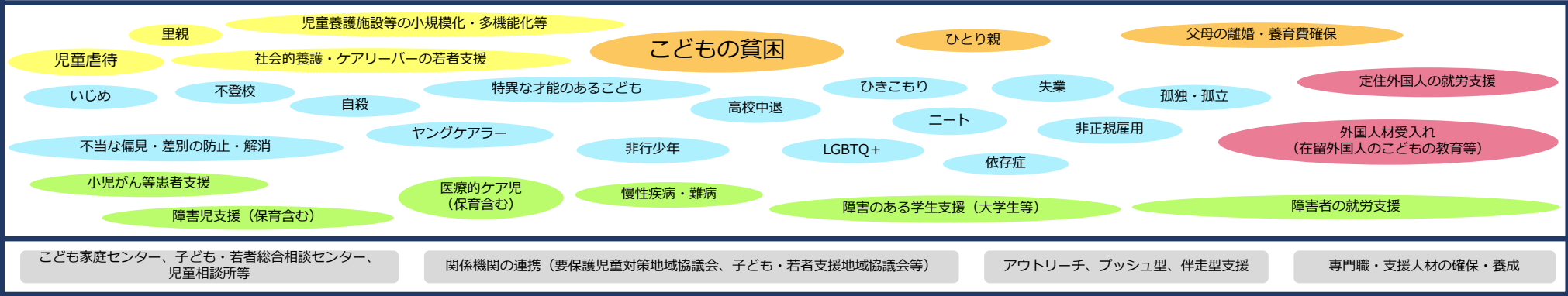


● = 健やかな育ち ● = 教育 ● = 雇用

- ※ 1 既存3大綱等からキーワードを抽出したイメージ。こども大綱における具体的な記載は今後検討（関連する政府方針との整合性に留意する）。
- ※ 2 本資料における施策の分類について、複数の分野にまたがる施策についても、便宜上、いずれかひとつの分野で整理しているが、他の分野にも属することを排除するものではない。

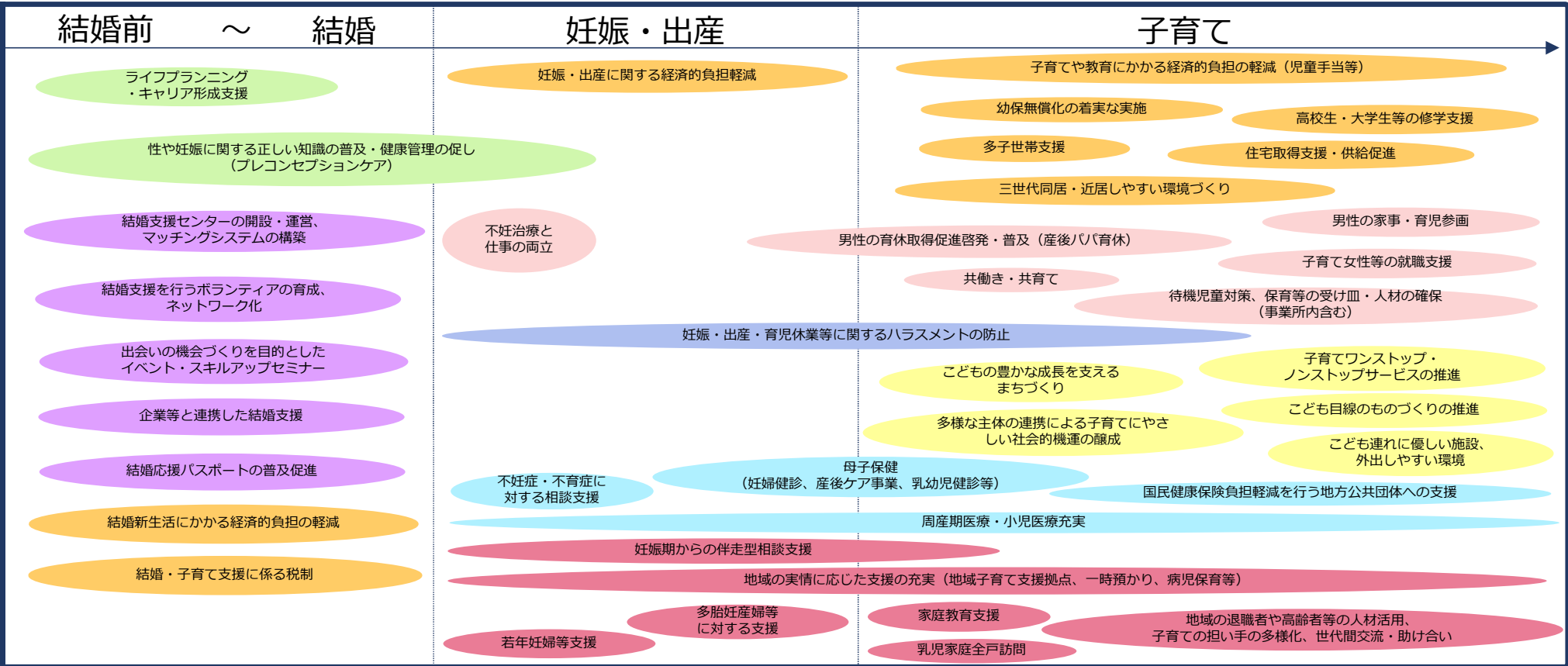
こども大綱のイメージ（「基本的な施策」関係）

困難を抱えるこども・若者や家庭支援

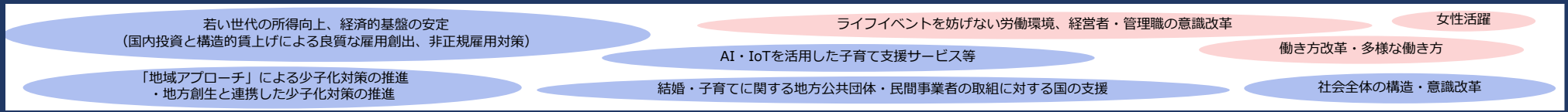


● = 虐待・社会的養育 ● = 貧困 ● = 様々な困難 ● = 病気・障害 ● = 外国人 ● = 地域の支援ネットワーク

結婚・妊娠・出産・子育てに夢や希望を感じられる社会



全てのライフステージに通底する項目



● = 結婚前の啓発・理解増進 ● = 地方自治体・民間事業者の結婚支援 ● = 経済的負担軽減 ● = 仕事との両立 ● = 子育てしやすい社会の実現 ● = 医療・保健関係 ● = 心理的・肉体的負担の軽減 ● = 多様なアプローチ